

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用(令和5年度分)

別紙様式2

事業所名: 運動・学習支援教室 POMU

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動のしやすいスペースを確保できるように工夫しています。	82%	7%		11%	引き続き、危険な箇所がないかの点検を行い、活動に必要なスペースを確保できるようにしていきます。
	2	職員の適切な配置	各曜日、指定基準を満たす職員数を配置しています。また、専門性をもった職員の配置も行っています。	82%			18%	引き続き、指定基準に沿って職員を配置し、丁寧に見守っていきます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内に大きな段差はありません。トイレには手すりを設置しています。パーテーション等を使い、障害特性に応じた配慮を行っています。	87%			13%	継続していきながら、お子様の特性に応じて教材や環境を整備していきます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃に加えて、感染症対策として毎日の消毒等の徹底をしています。	87%			13%	引き続き、清潔で過ごしやすい空間にしていきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務前の打ち合わせ、後のフィードバックの時間を取り、職員間で情報の共有の時間を取るようにしている。					引き続き、業務前の打ち合わせ、およびフィードバックを行い、職員間での情報の共有の徹底を行っていきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	必要に応じて実施					必要に応じて実施していきます。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	オンライン研修も含め、積極的に研修に参加するように努めています。					引き続き、積極的に研修に参加し、さらなる資質向上を目指した取り組みを継続していきます。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	面談時に保護者様からお子様の様子を丁寧に聞き取り、支援会議を行って、ニーズを取り入れたサービス計画を作成しています。	100%				引き続き、丁寧に子どもや保護者からのニーズを聞き取り、支援計画を作成していきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団活動の取り組みも取り入れた支援計画の作成に努力しています。					引き続き、個別活動と集団活動を組み合わせた計画の作成に努めていき、職員間で共有していきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援会議を開き、個々に応じた目標や支援内容を設定してます。	100%				引き続き、支援内容の項目は具体的に設定し、わかりやすく記載していきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供も（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員間で支援会議を定期的に行い、モニタリングを実施しています。	100%				引き続き、日々子どもたちの状況を把握し、職員間で共有し計画に沿った適切な支援を実施していけるように努めていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員間でプログラムを相談したり、提案し合っています。					引き続き、職員間で意見を出し合い、新しいプログラムを提供できるように努めていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	職員の配置を考慮した上で、子どもや保護者様の意向に沿った対応に努めています。					引き続き、保護者様や子どもたちの意向に沿った対応ができるように心がけます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	日々のフィードバックを通じて、指導員のさまざまな意見を取り入れながら、プログラムが固定しないように工夫しています。	93%			7%	今後もプログラムが固定化しないように、職員間で話し合いながら実施していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	打ち合わせでの伝達事項の徹底、また、その日の役割分担の確認をしています。					今後もその日の支援内容や役割分担についての確認を続けていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は、フィードバックを行い、こまめな報告と気が付いた点などを記録し、情報の共有を心がけています。					引き続き、こまめな報告と情報の共有を徹底していきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援の内容を業務日誌に正確に記録して、検証・改善に努めています。					引き続き、利用者の健康状態などにも十分に配慮し、正確に記録していきます。改善点などについても職員間で話し合っていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	保護者との面談方法を考慮しながら、半年に1度または必要に応じて事後評価を行っています。その上で新しい支援計画を作成しています。					引き続き、半年ごとに支援計画書の見直しの面談をおこなっていきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画						必要に応じて検討していきたいと思っています。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備						
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有						
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、						
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	現在のところ参加できていません。					必要に応じて検討していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在のところは実施できていません。	18%	3%	11%	68%	保護者様の要望も聞き入れながら、必要に応じて機会を検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年度は実施できていません。					機会があれば地域の行事等への参加を検討していきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に重要事項説明書をもとに説明させていただいてます。	100%				継続して行っています。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談方法に考慮しながら保護者に丁寧な説明をするように努めています。	97%			3%	引き続き、保護者様の意見を聞き取り、より丁寧な説明ができるように努めています。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	コロナ感染拡大予防対策の観点から、不十分なところがあります。	50%	3%	3%	44%	必要に応じて検討していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者には、送迎時や連絡ノートを通してその日の様子を丁寧に伝えるように努めています。	93%	7%			円滑に情報共有が行えるように、必要に応じてできる限りそれぞれの方に対応していきたいと思っています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	電話等でも保護者からの相談への助言等も丁寧にさせて頂いています。	83%	7%	3%	7%	送迎時に、丁寧に声掛けをしながら、保護者の方が、メールや電話などでも相談しやすい環境作りに努めています。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度は実施できていません。	11%	14%	25%	50%	保護者の希望等を聞き入れながら、講演会やイベント等の開催を検討していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があれば随時早急な対応に努めています。	68%			32%	迅速に対応ができるように、体制を整えています。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	十分に配慮をした対応に努めています。	96%			4%	引き続き、正確な情報共有を行えるよう配慮させていただきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	ブログなどSNSを中心に子供たちの様子をこまめに発信しています。	82%	4%		14%	引き続きブログなどで積極的に発信していきます。より多くの方に見て頂くために、SNSのアカウントを周知していきます。毎月の予定表を通して、月ごとのプログラムの内容を発信していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	管理規定に基づき管理しています。	96%			4%	引き続き、個人情報の秘密保持を徹底に厳守していくように努めます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	保護者には、契約時に説明をおこなっています。 感染症についてはマニュアルに基づいて対応を行っています。	71%	7%	4%	18%	継続していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	半年に一度災害時に備え、避難訓練を実施しています。火災や地震等を想定し、必要に応じてビデオなども見ながら訓練しています。	64%			36%	引き続き、さまざまな災害を想定し、定期的に避難訓練を行っています。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	新人指導員や継続スタッフそれぞれに虐待の研修をおこなったり、定期的な研修を行っています。					今後も、引き続き定期的に研修を実施していき、職員の意識の向上に努めます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行う場合は、保護者の方に書面を添えて十分な説明をおこなうようにしています。定期的に職員の研修をおこなっています。					引き続き保護者には契約時に説明し、理解して頂き、必要に応じて個別支援計画書に記載していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	対象児童には、適切な対応を行っています。					継続していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	お子様が安全に過ごせるように、環境面や関わり方についてミーティング等で協議し、ヒヤリハットの報告書を作成し職員間で共有していきます。					継続していきます。